



ロゴマーク デザイン学部メディアデザインコース1期生 木村 尚史



岡田大岬 「恨骨」 唐の詩人「李賀」の詩から

特集 背中を押す言葉

現代日本社会の原風景としての「昭和30年代」

札幌市立大学附属図書館長 中原 宏

「まだ、がんばれるかな？」

札幌市立大学看護学部・助産学専攻科・看護学研究科 宮崎みち子

関係性のデザイン

札幌市立大学デザイン学部 杉 哲夫

友だちと思える良い本に出会えることを願って

札幌市立大学看護学部・看護学研究科 坂倉恵美子

「古い船をいま動かせるのは 古い水夫じゃないだろう」を聞いていたころ

札幌市立大学デザイン学部・デザイン研究科 矢部 和夫

スマイル・コミュニケーション

札幌市立大学看護学部 清水 光子

日常と研究

札幌市立大学デザイン学部・デザイン研究科 細谷 多間

背中を押された言葉

札幌市立大学看護学部・看護学研究科 守村 洋

学生の本にまつわる話

カウンターの内側から紹介図書

附属図書館貸出・視聴ランキング

図書館情報

札幌市立大学
附属図書館

SAPPORO CITY UNIVERSITY



<http://www.lib.scu.ac.jp/>

現代日本社会の原風景としての 「昭和30年代」

筆者紹介
空間デザインコース・教授。専門は都市計画。「人がまちを創り、まちが人を創り育てる」が信条。人口減少時代のまちづくりの新しい計画理念や手法、成果をまちづくりへ展開している。趣味はクラシックギター（演奏および音楽研究）。多彩で美しい音色の織りなす世界の創造はまさに「まちづくり」そのものである。

札幌市立大学附属図書館長 中原 宏

●

都市計画が専門であることから、最新の都市開発プロジェクトには強い関心を抱くが、その一方で、坂、路地、賑わいのある商店街、路面電車の走る街の風景がこの上なく好きである。そこには必ず「人の姿」「生活の匂い」「心のぬくもり」「ゆるやかな時の流れ」があるからである。しかしながら、日本人がかつて大切にしていたこれらの要素は次第に失われてきている。

第二次大戦後、日本の社会は物的な豊かさを目指し邁進してきた。その結果、経済は成長し、都市は拡大し続け、おびただしい商品が氾濫するようになった。だが、成長には自ずと限界がある。気づくと日本の社会は人口減少期に移行しており、国際競争の中で経済を取り巻く環境も厳しさを増している。果たして日本は豊かになったのであろうか。未来の展望が見いだせない今日の閉塞感の中で、日本人は幸福を感じているであろうか。

ブータン国王夫妻の来日を契機に、同国の掲げる「国民総幸福度」という指標に注目が集まった。物的、金銭的に豊かであっても幸福であるというのは、かつての日本人の考え方に通じるものがある。

●●

以前、ある懇親の席で、都市の活性化方策として「昭和30年代に学ぶ」を提案したことがある。当時、その場では一笑されてしまったが、「社会や人の絆こそが活力の源である」という信念があった。その後、10年ほど前から全国各地で「昭和30年代」を再評価する動きが活発である。

筆者の育った昭和30年代とは第二次大戦終戦直後の混乱期が終わり、高度経済

成長が始まった時期である。頑張れば成果は必ず還元されるという信頼があった。駄菓子屋、銭湯、紙芝居のある風景、近所付き合い、思いやり、家族の絆に支えられ、人々は夢や理想を語り合った。いわば、貧しくても明日に向けて希望が持てた時代である。家族はもちろんのこと、地域社会がお互いに支え合う仕組みが存在していた。まさに、優れた共同体そのものであり、金銭欲や物質欲を志向しない、日本人の潔さが根底にあった。このことは、幸福や心の豊かさとは金やモノだけでは手に入らないことを物語っており、「昭和30年代の再評価」とは決して懐古趣味ではなく、この原点に学べということにほかならない。ここに今日の閉塞感から脱却するためのヒントが潜んでいる可能性がある。

●●●

未曾有の惨事となった2011年3月11日に発生した東日本大震災は、自然災害や日本社会のあり方、生きることの意味や価値を根底から考え直す契機となった。科学技術でも抑えられない自然災害があり、同時に皮肉にも科学技術が原発事故という巨大な災害を生んでしまったのである。成長神話に支えられてきた社会のサイズを見直す論議が始まっている。

一方で、被災者の方々の話から、家族や仲間、地域の人々のつながりの大切さを再認識させられた。最後に何が私達を守ってくれるのか。それは科学技術や政治ではなく、実は「絆」こそが重要な鍵となることを私達に再発見させた。

●●●●

昭和30年代についての図書は近年、数

多く出版されている。生活スタイルや家電製品、乗り物などを知るには「貧しくても元気だった懐かしの昭和30年代」（町田忍・著、扶桑社2002）、「なつかしの昭和30年代図鑑」（奥成達・著、いそっぷ社2005）などがある。また、「三丁目の夕日」（西岸良平・作画）はビッグコミックオリジナル誌（小学館）に1974年から長期連載を続けている漫画であり、「ALWAYS三丁目の夕日」として映画化されたことでも記憶に新しい。当時の生活スタイル、家族や社会の「絆」の強さを知る手がかりになる。

平成生まれの若人にとってはレトロな世界に映るかもしれないが、（白黒）テレビ・洗濯機・冷蔵庫の家電3品目が「三種の神器」として喧伝され、インスタントラーメン発売、漫画・鉄腕アトム連載、新幹線開業、東京五輪開催があったのも、すべて昭和30年代である。まさに、現代日本社会の原風景である。



イラスト・メディアデザインコース3年 内海 智美

「まだ、がんばれるかな?」と思い、考えるときに、読み進めている新聞記事から、たまたま手にとった本のページから聴こえてくるものがあります。それは「もう少しがんばってみては!」とささやく温かく優しい、そして静かな声です。そのささやきの原点を、私の宝の小箱からご紹介しましょう。

<その1>

童話のはじまりですー「世界はたくさんの国々に分かれています。大きな国もありますが、なかには、モナコ公国やバチカン市国のように、まめつぶのような小さな国も、いくつかふくまれています。ところが、そういう小さな国とくらべても、まだまだけたはずれに小さな国が、どこかにあるなどといったら、世の中の人、きつとびっくりすることでしょう(佐藤暁「だれも知らない小さな国」(講談社、1961年))ー、主人公は小学校3年生です。

この主人公と一緒に、この小さな小さな国を探して、その中に迷い込むことができたらと思いをめぐらしているうちに、。そして、そこの住人であるコロボックルに出会えることを心待ちしているうちに、。もしかしたら研究室の鉢植えの片すみで暮らしているのではと試してみたり、。そうこう過ごしているうちに、次に向かう一歩を踏み出さずにはいられない「夢」があふれてくるお話です。是非、御一読を!

<その2>

「毎日毎日、同じことの繰り返しをしているようで、これでよいのか」と思い悩むとき、小学校5年生の女の子から教わりました。「何の変哲もない平凡な毎日を過ごせることの意味ー大切さと困難さー」を。その毎日に身をおけることに感謝し、新たな一歩に向かえました。

あたりまえのことが

横浜市瀬谷区
二つ橋小5年 佐藤裕子

食べられること
ねむれること
学校へ行けること
友達と遊べること
家族で話せること
大人が仕事をする
健康で安心なこと…
それは あたりまえだった
それが幸せに変わった
平成7年1月17日
阪神大震災が
私に残したこと
(読売新聞、1995年3月18日付)

<その3>

私たちの「いのちはひとつ」、これは言うまでもなく万人に共通のことです。しかし、その数え方はいろいろ数えているうちに、「自分もそのひとつであり、今、思い考えていることは何だったかな?」ーと、新たな自分に向かえることを伝えてくれます。地球のどこかで生まれた女の赤ちゃんが主人公のお話です。

生まれたばかりの彼女は、身長50センチ。体重3キロ。彼女の体の中には、9万9000キロ…地球2周半分の長さの毛細血管が張りめぐらされています。人生最初の大好物はママのおっぱい。生きるために必要な栄養素が全て入ったお乳を彼女は3ヶ月で92リットル飲みます。そして、体重は6キロになりました。

(中略)

3歳の誕生日のとき

バースデーケーキをプレゼントされた彼女は、この先、3741本のろうそくを吹き消すことになります。

(中略)

小山薫堂「いのちのかぞえかた」
(千倉書房、2010年)



イラスト・メディアデザインコース3年
江口 亜衣里

特集 背中を押す言葉

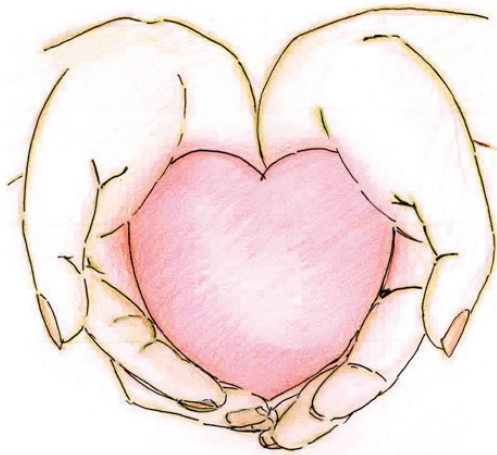
「まだ、がんばれるかな?」

札幌市立大学看護学部・
助産学専攻科・看護学研究科

宮崎みち子

筆者紹介
母性看護学領域・教授、助産学専攻科長。胎児の生きる権利や看護実践と倫理的ジレンマに関する研究を行っている。また、十代の性の健康支援ネットワーク作り事業、胎児の生命を守る事業(生命尊重センター、エンブリオ北海道)への協力などの活動を行っている。母と児を守る看護・助産を語る姿は、穏やかな語り口ながら熱いものがみなぎっている。

杉 哲夫



イラスト・メディアデザインコース3年 松井 彩

父が死んでから、仙台の実家の母のところ年に5回ほど行くことにしています。

大阪での会社勤めの時は大阪から、東京に転勤になってからは東京から、そして今は札幌から、毎年5回ほど行っています。母は気が弱く、死んでしまいたいということを口癖のように言っていて、心配なので毎週末電話をかけますが、電話だとこちらでもイライラしたりしてしまいます。

会いに行って一緒にいると不思議と落ち着きます。とりとめなくしゃべる母にただ黙って「うん」とうなずくだけです。帰るころは落ち着いています。「次いつこられんだべねえ」いつも母が別れ際に言う言葉です。

デザインとは、形だけでなく、人間力をフル活用しながら価値を生み出す関係性の形成力だと、「ビジネスのためのデザイン思考」という本の中で著者の紺野登氏が述べています。

母が老人性うつ病と戦っていることの手助けをし、ボケないようにするための定期的なケアをデザインしているとも言えるかもしれません。

考えてみれば、モノやサービスで人々を幸せにするのも、体を張って、笑顔を振りまいて人々を幸せにしている人もある意味、世の中の関係性をデザインしているのではないかと思います。

「ビジネスのためのデザイン思考」で、デザインはDe + Sign Delは否定、

Signは従来の記号であり、デザインは従来の常識を否定し、変えることだと著者は話しています。

よく掃除する道具のデザインを学生の実習テーマにしています。学生には掃除機をデザインしてはダメだと言います。本来の目的は何か、誰のどんなニーズを満たすために掃除をするのかを考えるように言っています。

まず誰のどんなことを解決するために何かの手段を提供することでその人が幸せになるかという、対象の人間がいるはずで、人を頭に置かず、形だけ考えてもむなしい徒労に終わってしまいます。逆に、アルバイトをしていた店先の落ち葉がいつも一杯で、掃除をしている経営者の奥さんが大変そうだったからと、葉っぱ掃除の道具を考え出したりすると思わず手をたたきたくてしまいます。

携帯電話やレストランをきれいにデザインするのではなく、そこに集う人の、あるいは使って喜ぶ人の顔を思い浮かべ、その関係性を考え、いろいろな要素を組織化し、目的を達成する方法を再構築してみることが重要です。コンセプトができたならそれを解決するための最適解を創造していくことになります。洗練された最適解を求めるには経験や技術力の積み重ねが必要です。

企業や社会が学生に求めることは、どんなすばらしい解を出したかということより、何を考え悩んで誰のためにどう考えてコンセプトをひねり出したかという

筆者紹介

製品デザインコース・教授。専門は、製品デザイン、デザインマネジメントなど。暮らしやすい社会をデザインするためには人材育成が最重要との考えから、思いやりの心を持ち、それを新たな知恵のかたちとして創造できるデザイナー育成に取り組んでいる。

特集 背中を押す言葉

関係性のデザイン

ことです。その人の、テーマに対する関係性の構築に向けてトライをした人間力を見て、「彼・彼女が会社に入ったら何かを変えてくれるかもしれない」という期待感が湧きます。テクニックは頑張ればすぐに身に付きますが、コンセプトを立てるために考え抜く行動力や人間性はその人独特の資質です。

母の住む仙台市若林区の実家は、東日本大震災の後連絡も途絶え、不安になりましたが、兄を通じて無事が確認されました。地震でぐちゃぐちゃになった家の掃除に行くことが出来たのは1カ月以上経って、東京から直通バスが運行されるようになってからでした。

母はだんだんと認知症がひどくなってきましたが、私も自身がボケないように、地域の人々の暮らしの中での関係性のデザインを続けて行きたいと思っています。

お勧めの図書

ビジネスのためのデザイン思考 = Innovate by design-based management
紺野登著 東洋経済新報社 2010
(芸術の森 2F 開架 355/Kon)

誰のためのデザイン?: 認知科学者のデザイン原論
D.A.ノーマン著; 野島久雄訳 新曜社 1990
(芸術の森 2F 開架 501.83/Nor)

プロダクトデザイン: 商品開発に関わるすべての人へ
日本インダストリアルデザイナー協会編 ワークスコーポレーション 2009
(芸術の森 2F 開架 501.83/Nih)

筆者紹介

老年看護学領域・教授。博士（医学）。積雪寒冷地高齢者の生活支援およびQOL（Quality of Life：生活の質）、積雪寒冷地高齢者の安全な入浴のあり方、高齢者の心理的援助である回想法研究を行っている。積雪寒冷都市である札幌の高齢者にとって安全な生活および心理的援助を含むQOL研究を継続することが将来構想である。やさしい笑顔と美しい声の先生である。



イラスト・メディアデザインコース3年
松田あかり

特集 背中を押す言葉

友だちと思える良い本に出会えることを願って

学生みなさんは、本が友だちという
と笑うでしょうか。友達は共にそばに
いて時間がたつのも忘れるような存在か
と思いますが、みなさんは本を友達と考
えたことがありますか。私はこれまで何
度も友だちのようなもう一度読んでみ
たいと願っていた本に再会しています。そ
うちの一冊を、是非みなさんに紹介し
たいと思います。

それは、ロシア人の児童文学作家であ
る、サムエル・ヤコヴレヴィチ・マルシャ
ーク（Samuil Marshak 1887-1964年）
作の戯曲『森は生きている』です。

この本は劇の脚本であるため、読むの
にちょっとした工夫が必要です。まず、
ご自分で広くて奥行きがある舞台を想像
してみてください。この物語はわがまま
な女王の気まぐれからはじまりました。

かごいっぱい金貨につられた
まつゆき草を探しに
継母にむりやり森の中に行かされた
〈少女〉が出会ったのは
〈時間〉をつかさどる自然の守り手
一月から二月までの二人の
〈月の精〉たちだった
“もえろ もえろ あざやかに”
月たちが歌う焚き火のぬくもりのなかで
〈むすめ〉はなにをもらったか？
女王はなにを学んだか？

この戯曲の場面は、ロシアの厳寒の冬、
そして、深い森の中。降りしきる雪の中
で少女と人間たちが出会い、自然の底知
れぬ恐ろしさ、そしてすべてに癒しを与
える暖かさの展開があります。春を待つ
長い冬、そんな中で奥深いロシアの森の
精たちがほんの束の間にみせてくれた幻
影は、親のない少女に生きるためのヒン

トを与えてくれます。ロシアの精（自然）
は、神でも悪魔でもなく、しかし厳かに
人間の傍らにより添って暮らしているの
です。

作者マルシャークは、ナチス・ドイツ
がロシアの大地を焼きつくす第二次世界
大戦中、その戦火の最も烈しい時に、こ
の物語を書き下ろしました。我が国にお
いても東日本大震災と原発事故はこの国
のありようを根本から問うています。は
た-またTPP（環太平洋戦略的経済連携
協定）に関する是非の論議が持ち上がり、
自然との共存を叫ばれる今日の人間社
会、高度な文明社会の中で私たち個々人
に意見が求められています。

しかしその一方で私たちは、長い冬
の時期を経て、明るく燃え立つような
「春」の到来を待ち、その春を迎えるこ
とができるのです。そう思うとき、私
はこの戯曲に出てくるあるシーンを思
い起こします。

一月 冬將軍たちよ、
ビシビシ音をたてるな
伐採禁止の森で
マツやシラカバの
皮をかじるな
もうたくさんだよ
カラスのむれを
人間のすまいをひやすのは

今年も真っ白い世界となる冬がやって
きました。去年の今頃、東日本で暮らし
ていた人々は、いったいどのような家で、
どのような家族と、どのような部屋で温
かな冬を過ごしていたのでしょうか。し
かし、無謀にも3月11日の震災により事
態は急変してしまいました。空前にして
絶後、はじめてみる悲惨な景色が毎日TV

に写し出されました。避難所で母を待ち
続ける小学生は、公衆電話から母の携帯
に何度も呼び続けていました。9ヶ月経
った今、人々は静かに本当の悲しみを感じ
ているところでありましょうか。

その苦しみから抜け出す手がかりは、
もしかして本の中にありはしないでしょ
うか。そのような本がよき友だちとして
あってほしいと心から思います。

もう一冊紹介したい本、それは長田弘
著『読書からはじまる』です。この本は、
とてもユニークな読書論であり、著者は新
呼吸するように本を読むこと、読書の鉄則
は初めに良書ありきではなく、下手な鉄砲
数打ち当たるように本に出会いなさいと述
べています。また、読書というのは、自ら
の言葉と付きあうこと、自分の心のなかに
失いたくない言葉の蓄え場所をつくりだす
ことであると述べています。

積雪寒冷地における人々の生活支援を
コンセプトに教育・研究する私が小学生
の時に出会った一冊の本＝友だちを紹介
いたしました。学生みなさんも友だち
と思える良い本に出会われることを願っ
ています。

お勧めの図書

森は生きている
サムイル・マルシャーク作；湯浅芳子訳；
新版 岩波書店 2000（岩波少年文庫）

読書からはじまる
長田弘著
日本放送出版協会 2006
（NHKライブラリー）

特集 背中を押す言葉

札幌市立大学デザイン学部・デザイン研究科 矢部 和夫

「古い船をいま動かせるのは古い水夫 じゃないだろう」を聞いていたころ

筆者紹介
空間デザインコース・教授。専門は、生物多様性保全、湿原、ビオトープなど。湿原群落の成立過程の解析という基礎研究を追求し、この成果に基づいた地域の生物多様性保全に取り組んでいる。



イラスト・メディアデザインコース3年
山下 恵

私は元道立高等学校の教員として11年の在職期間中、3つの高校に勤務し、各学校で一回りずつ入学から卒業まで担任を受け持った。3つ目の学校は札幌のA高校で、そこで卒業生を出した年に退職した後、もう15年も経ってしまった。A高校では2年生になるときに一度だけ理系コースと文系コースに分かれるクラス替えがあった。私は理系クラスを受け持った。当時は高校生数が多く、学校も通常のクラス数に1クラス増設して、1学年11クラスという大きな学校であった。

クラスの生徒のうち、8人は3年間私が担任をした生徒であった。その中の一人にY君がいた。彼はまさに飄々とした生徒であり、よく私のいる準備室に友人数人と遊びに来ていた。何事も自分のペースで取り組み、ゆっくりとしゃべり決して急がなかった。

進学高校で、1年の春休みに宿題プリントをわら半紙で厚さ5 cm分も出す教員のいる学校だった。一方、生徒の方も賢く、そのような教員の言うことを軽く聞き流していた。生徒たちは普段は勉強ばかりの学校生活だったが、学校祭やら球技大会やらは大いに盛り上がり、みんな楽しそうに頑張っていた。高校2年の時、学校祭後近くの月寒川の河原に男子があつまり、朝まで騒ぎまわったらしい。この時は私も前日に一言事前注意をして少額カンパした。Y君他数名は生焼けの肉を食べたらしく、その後数日学校に来なかった。あとで女子たちが、男子だけで遊んでずるいとクレームを出した。

Y君が1年のころ、私は地方から札幌に転勤で戻って2年目だった。近くに私

の出身大学があり、そこへ通ったり休日は湖の生態調査に通ったりして、教員の仕事のかたわら、細々と研究を続けていた。平日は放課後からの研究なので帰りは定時制先生たちが帰宅するころに帰った。私は研究が一番やりたいことなので、30代後半のここで研究を捨てるわけにはいかないという気持ちだった。この頃、研究成果に対して外部から一定の評価を受けており、それが大きな励みとなった。評価されなければ続けていられなかったと思う。大学の恩師もそのような私に研究基金を推薦してくれた。

Y君たちは、そのような私の後ろ姿を見ていたのだと思う。卒業後7-8年も経ってから本人から聞いて分かったことだが、彼はもともと工芸家を目指していたが、私と出会ってから自然環境系大学に志望を変えた。しかし残念ながら志望校にとどかず、その後浪人をした。

私はY君達の卒業と同時に退職し、高専の研究職に転職した。この年からクラス会が始まり、今も続いている。1年目のクラス会は年明けのセンター試験直前に開かれた。集まった皆で欠席したY君に励ましの電話をした。私も電話で励ましたが、結果は不合格だった。2年目は前年の反省もあり、直接電話に出ないで、親友に応援メッセージを託した。この年も結局Y君は不合格だった。翌年にやっと合格した。よく頑張ったと思う。3年目からクラス会に来ては、近況を話してくれた。その後彼は4年間で卒業したが、そのまま職に就かず、十勝で映画製作の助手と農家の手伝いで2年間過ごした。クラス会であって話を聞くと、大

学は環境系に行ったが、木工系の仕事をしたいので宮大工の道を模索していると言った。それを聞いて私は彼を連れて知人の建築家に相談に行った。建築家に丁寧に質問に答えていただいて、Y君の考え方も整理された。Y君は、自分がやりたいことは建物よりも小規模な木工芸の分野であることに気付いた。その後1年以上たってからY君は関西に移り木工芸の世界に飛び込んだ。もともと木工芸の才能が有り、よく精進もしたようで、数年後に契約していた会社の正社員になり、制作活動を続けている。今後は独立して北海道で家具の制作を始めようとしている。

Y君のこれまでの経歴をみて、人間はなるようになるのだと思う。これは私自身についても言えることである。誰かが「本当の才能は誰もつづすことはできない」といていた。どんなに環境に恵まれなくても、いつかはちゃんと伸びていつて開花するのだ。若い人たちよ、どんなに大きな不幸や不運に遇ってしまっても、いつかまた新たな一歩を歩みだしで欲しい。

お勧めの図書

熊撃ち 久保俊治著 小学館 2009

海流のなかの島々 ヘミングウェイ著；沼沢治訳；上、下：改版 新潮社 2007（新潮文庫）

シーシュボスの神話 カミュ著；清水徹訳 新潮社 1969（新潮文庫）

都市 クリフォード・D・シマック著；林克己他訳 早川書房 1976（ハヤカワ文庫）

特集 背中を押す言葉

スマイル・

コミュニケーション

札幌市立大学看護学部 清水 光子



筆者紹介
地域看護学領域・准教授。札幌市民の健康を支え続けた豊富な臨床経験をもとに地域看護の極意を伝授している。研究テーマは、保健師の継続訪問によるマネジメントについてである。「みんながすこやかに安心して暮らしていけるまちを、地域の方と共に考え展開できる保健師を育てることなどに力を入れたいと語る。

イラスト・メディアデザインコース3年
内海 智美

平成23年3月11日に、東北地方に未曾有の自然災害が起これ、日本中が辛く悲しい思いに突き落とされました。地震後間もなく私の所に「先生、私は何をしたらいいのでしょうか。」とたずねてきた学生が数人おり、私は学生のその思いにいたく感動を覚えました。その後、被災地の方々にむけて自分にできることを実行に移したニュースや話題が紹介され、日本中に「絆」がたくさん生まれました。「絆」は、糸へんに半と書きます。人と人を結び、半分ずつそれぞれの手に持つという意味があるそうです。私は、人と人とを結ぶ絆は「ほほえみ」と信じています。笑顔は、私たちにとって何気ない日常的な所作ですが、私たちの気持ちを前向きにし、人と人とのコミュニケーションを円滑にしてくれます。とても悲しくて辛かったであろう被災地の方々が、復興に向けて笑顔で共感し合う姿に、日本中の人々が逆に勇気をもらったのではないのでしょうか。

11月には、ブータン国王夫妻が新婚旅行に日本を訪れました。国王は、震災の次の日に祈りをささげ、日本に100万米ドルの義援金を決定したというニュースも後押しし、日本国民が、「世界一幸せな国」に想いを巡らせながら、夫妻の笑顔に感動した5日間でした。私には、あの笑顔に多くの日本人が癒しを求めたのは滑稽にさえ思えました。

また、11月は、我が家に二男の子が生まれたという嬉しいニュースが飛び込

みました。夫に初孫の顔を見にいこうと誘ったら、「笑うようになってから行きたい」と言ったので、遠方であることを理由に初対面を少し遅らせることにしました。「人が笑うのは生まれながらの能力」であることを、ダーウィンは我が子を実験台にして確信したそうです。赤ちゃんは、生まれて2か月目くらいで自分から周りの人に笑みをふりまき、それに一番ほほえみ返してくれた人を母親と認識し、コミュニケーションをとると言われています。

本学の図書館には笑いの本がたくさんあります。日本笑い学会副会長であり産婦人科医の昇幹夫は、「笑いは心と脳の処方せん」などを出版し、笑いは健康を増進させがんの予防にもなると、笑いの効用や笑顔の作り方までを紹介しています。脳科学者である茂木健一郎は、困難な時代だからこそ笑いを通して脳の潜在能力を生かしてほしいと、「笑う脳」を作りました。笑いは、知覚情報を解析し、文脈全体を俯瞰する「メタ認識」の働きによる複雑で高度な知的活動である。笑いは、私たちを抑制している負のエネルギーを正に転換し生に活力を取り戻してくれるものであるから、享受するだけでなく自らが笑いの主体となり、親しい仲間や大切な人と笑いを共有することが重要であると説いています。さらに、ニーチェからお笑い芸人までの笑いに関する人々の考えや生きざまを紹介し、いまだ神の領域に属すると言われる笑いの謎に

迫ろうとしている興味深い本です。

私は教育の道に入り6年目になりましたが、最近、新卒者はコミュニケーションが苦手であるとよく言われます。コミュニケーションがうまくできないため自分の実力を出せないのは残念に思います。実際、コミュニケーション力がある新卒者は、笑顔でいつの間にか職場の一員になり、多くの技術を先輩から伝授されているのを私はよく知っています。コミュニケーションが苦手なあなたは、「笑顔」でみんなと向き合しましょう。無理して話そうと固まらないで笑顔で返してください。そして、あなたを理解し、絆の半分を持ってくれる仲間や大切な人が現れたら、あなたは小さな目標を見つけてそれにチャレンジしてみましょう。きっと自分と未来を変えることができるでしょう。今、私たちは、自分たちの姿を客観的に見つめ直し、人生に活力を回復する成熟した笑いをつくりだす時期にきていると思います。

(2011年12月15日 記)

お勧めの図書

笑いは心と脳の処方せん：ユーモアから学ぶ健康学

昇幹夫著 リヨン社 2003

(桑園 開架 498.3/Nob)

笑う脳 茂木健一郎著 アスキー・メディアワークス 2009 (アスキー新書)

(桑園 文庫・新書 141.6/Mog)

筆者紹介
コンテンツデザインコース・准教授。専門は、プロダクトデザイン、メディアアート、デジタルデザインなど。複数の領域にまたがる専門を活かして自然現象や生物に関する情報化に取り組み、これまでにないデザインやアート表現の開拓に取り組んでいる。

皆さんは「研究」という言葉をどのようにとらえているでしょうか。研究といえば、何か難しいことや、自分の生活とは異なる世界のことと考えてしまうのが普通でしょう。まして、学者などと聞けば、世の中の多くの人々が自分とは関わりのない人々であると考えってしまうのかもしれませんが。しかしながら、私にとって研究は、好奇心であり興味でもあり、人間として生きていく上での本能的な関心にすぎません。むしろ、現代社会においては全ての人々が研究に取り組み、それを生活に結びつける機会に恵まれているとさえ考えています。

アメリカの代表的なSF作家、レイ・ブラッドベリ (Ray Bradbury) は、私が考える研究の姿を端的に著した短編小説を書いています。短篇集「ウは宇宙船のウ」(原題: R is for Rocket)の一篇、「霜と炎」という作品です。物語は、宇宙旅行で遭難した人間が、極度に寿命の短くなってしまう惑星に不時着しながらも、惑星からの脱出に望みをかけながら「知の継承」を行うといった内容です。多くの人々が短くなった寿命を本能のおもむくままに費やす中で、一部の学者は、世代を超えて科学や宇宙船の技術を伝承し、いつかこの惑星から逃れられる日のために備えます。主人公は、このような状況で生まれ育ち、学者から知識を授かることになるのですが、その中で、彼らが暮らす洞穴から遠くに見える不時着した宇宙船にたどり着くことができれば、その宇宙船を操って惑星から脱出できる可能性のあることを教えられます。問題は、昼夜の急激な環境変化(霜と炎)の合間をぬって宇宙船にたどり着かなければ凍え死んでしまうか、太陽に焼かれてしまうことにあるのですが、ある日の

朝、主人公は意を決して宇宙船に走り出します…。

この物語には「研究」関わる2つの大きな題材が描かれています。ひとつは、研究が日常の営みと別のものであるかのように見えて、実は人間の生活を根底から支えているといった視点です。生物が生きるために持続的な関心を持つこと(研究)は、必ずしも必要なことではありません。特に、人間が生きていく上で都合の良いように築き上げられた現代社会においてはなおさらです。しかしながら、ひとたび環境に変化が起こった時、あることに持続的な関心を持ち、培ってきた「知」はその力を発揮します。私は、研究とはそのようなものの性質を持つものであると考えています。

ふたつ目は、研究が受け継がれることで発展し、いずれ結実するという題材です。我々は自らの一生を価値観の礎とすることが多いでしょう。しかしながら、人間ひとりが成し得ることのできる業は決して多くはありません。そのためには、ひとつの業を協働して解くことや、途中まで成し得た業を引き継ぐことが必要となります。一人ひとりの「知」が微々たる進捗であったとしても、これを融合することで大きな成果を得ることができるということです。学者が論文を書くことは、ひとりの「知」を共有し、後に引き継ぐことに他なりません。「偉業を成し遂げる」といった派手な成果が得られるのは、何世代も「知」引き継いだ結果であり、こうした連携があればこそ成し遂げられるものなのです。

昨年(2011年)は、東日本大震災が発生し、数々の異変に対して研究の成果が問われた年でした。未曾有の異変に対して、地震学者、原子力の学者、経

済学者といった様々な専門を持つ研究者の「知」が試されたのです。大きな成果を見せた研究もあれば、想定した成果を発揮できなかった研究もあったことでしょう。しかし忘れてはならないのは、人為を超えた異変に対し、世の中がまず最初に「研究」を頼みにして対策を講じる必要があった事実、そしてそれらが連携して崩れかかった世の中を辛うじて支える力となったことです。我々は平穏な状況に戻ってしまえば、これらのことを急速に忘れてしまいますが、研究者としては身の引き締まる経験であったと今更ながら考えています。

お勧めの図書

どちらも日常(世俗)と研究を題材とした小説です。

ウは宇宙船のウ レイ・ブラッドベリ著
大西尹明訳 東京創元新社 1968
(創元推理文庫)

白い巨塔 山崎豊子著 新潮社 2002
(新潮文庫)



イラスト・メディアデザインコース3年
江口 亜衣里

筆者紹介

精神看護学領域・准教授。精神障害者の社会参加と自立へむけての地域生活支援、自殺予防に関する研究を行っている。また、日本臨床救急医学会自殺企図者のケアに関する検討委員会、NPO法人すみれ会理事など精力的に活動を行っている。看護学部男子学生にとっては、男性看護師としてのモデル的な存在である。

特集 背中を押す言葉

背中を押された言葉

札幌市立大学看護学部・看護学研究科 守村 洋

精神障害者の患者会「すみれ会」(札幌市)は、精神衛生法時代の1970年に発足し、精神保健福祉施策に順応し、40年以上も独自のやりかたを用いて、地域に根付いた活動をし、歩み続けている。これまでの経緯は決して平坦ではなかった。天災に見舞われ、仲間を亡くし、世の中の人たちの無理解と誤解の眼差し、そして基盤に存在する精神に障害を抱えながらの生活のしづらさ等、まさに地を這うような活動を続けてきた。これらの困難を仲間と共に乗り越えてきた歩みが、現在の活動の源にある。最近では、障害者自立支援法という障害者福祉施策の改革にも揺るがずに、仲間と共に議論した結果、自分たちの力で法人格を取得し地域活動センターへ移行することになった。「すみれ会」は、まさにSelf-helpの典型的な活動を展開しているのである。

拙者と「すみれ会」との最初の出逢いは学生時代である。自らの進路について悩んでいた時に、精神看護学担当の教員に「ゴタゴタ悩んでいないで、人生を楽しく過ごしている人たちと一緒に語りなさい」と言われ、宴会に連れていかれた。拙者にとって人生で最初に背中を押された言葉である。そこでは中高年のオジサン方が飲んで、食べて、語っていた。それが拙者にとってのすみれ例会デビューだったと思われる。大学の講義で「坑精神病薬はアルコールにより効果が減少するため、精神科の患者には飲酒はご法度である」と学んだ拙者にとって、衝撃的な場面に驚愕したことを覚えている。卒業後は大学病院へ就職し精神科領域を選択した。ただ、臨床では精神医療にとつくりと浸かりすぎたためか、彼らとの交流は希薄になっていった。

「すみれ会」との関わりが再燃したのは、大学院での臨床実習施設としてからである。精神障害当事者である実習指導者から多くのスーパービジョンを受けた。ある日の実習記録へは「皆との間に違和感が無く、

一緒に仲間という感じがして、(守村さんの人柄か)援助者という感じがしない。そういう接し方が医療関係者に我々が求めているものです」とコメントが記されていた。彼らに対する支援のあり方について考え始めた頃に背中を押された言葉である。

その頃から定期的な例会の参加の他に、事あるごとに関わりを持つようになった。このような過程を経て、現在は理事の役割を担うことになったが「盲人ランナーの伴走者」というスタンスでの関わりは変わっていない。決して自分のペースを相手に与えず、風のような存在でありたいと心掛けている。勿論、「すみれ会」に関わり続けている諸先輩のように、彼らから学び続け、共に生きていくことは言うまでもない。

ここで関連する本を紹介する。月崎時央著「精神障害者サバイバー物語 8人の隣人・友達が教えてくれた大切なこと」(中央法規)、斉藤道雄「悩む力 べてるの家の人々」(みすず書房)、四宮鉄男「とても普通の人たち」(北海道新聞社)。これらの筆者は精神に障害を抱えた人々から学び続け、共に生きていくことができた。そのプロセスから生まれた本である。

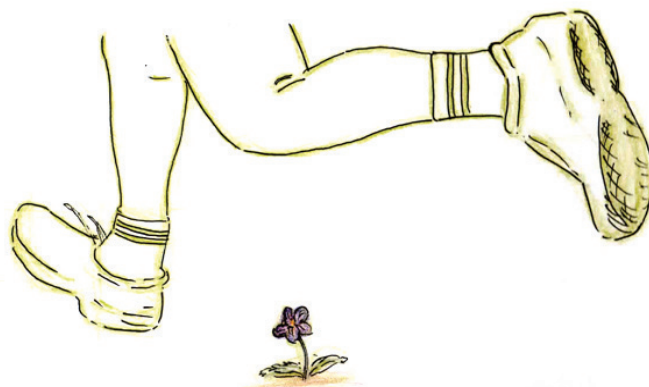
最後に、現在の研究テーマである「精神障害者の社会参加と自立にむけての地域生活支援」を進める上で、背中を押された言葉を紹介して本稿の結びとする。

すみれ会の援助者との関係については、河野先生の「金魚のフン」から守村先生の「盲人ランナーと伴走者」といろいろあります。どちらの面白いと思います。私達すみれ会の主体性を大切にしてくれているのだなぁと思います。実際に走り活動しているのは私達なのです。それをほどよく、支えてくれるのが支援者なのです。

…(略)…。もちろん、盲人ランナー以上の走る力がなければなりません。もしどの晴眼者のランナーより速い盲人ランナーが出現したらどうなるのでしょうか。結果として、盲人ランナーは晴眼者のランナーを引きずっていく事になります。はっきり言って、私達「すみれ会」は速いですよ。守村先生、引きずられないように心して伴走してください。

(すみれ会便りNo.384、p.5より)

イラスト・メディアデザインコース3年 松井 彩





イラスト・メディアデザインコース3年
松田 あかり

何のために本を読む？

札幌市立大学デザイン学部メディアデザインコース3年

中村 葉月

何のために本を読んでいるだろうか。それは人によって違うが、詳しく考えてみよう。

本の大事な役割の一つ目として、知識を伝える媒体としての役割がある。例えば、著名人には簡単に会うことはできないし、わざわざ時間を割いて直接講義をしてもらえない。ましてや、スティーブ・ジョブズのような故人には講義どころか声をかけることさえできないのだ。しかし、彼の本を読むことで彼の考えたことを知ることはできる。面と向かって話することはできなくても、彼の本がある限り、彼の考え方は本の中で後世へ伝えることができる。そして、本が著者と読者を結びつける媒体になり、著者の考えを読者に伝えてくれているのだ。もちろん双方向でやりとりはできないけれど、著者も読者のことを考えてわかりやすいように文章を書いている。だから本を読むことでコミュニケーションを間接的に行っているといえる。その本を読むというコミュニケーションの中で、読者は知識を身につけたり、新しい発見があったり、純粋におもしろがったりと、さまざまなことを考え、体験できるのだ。

二つ目に、誰かと本の内容を共有するということがある。例えば、同じ本を読んだ相手は、本によって同じ体験をしたということになる。しかし意見交換をすれば、自分と相手の意見は全然違うことがある。自分が好きな本を相手はそこまで好きじゃなかったりするし、同じ本が好きでも好きな場面や、好きな描写が

違ったり、解釈の仕方も人それぞれだ。それが自分が好きな本の話であれば、「ここがおもしろい」と熱心に語りたくなる。そうやって、全く違った意見を持った人と話すことで、新しい視点、新しい発見があったりする。違う目線で読み返してみれば、違った発見があるはず。また、読んだ本の内容で自分が驚いたり、感心した知識を、それを知らない相手に披露したくなる。相手がそれを聞いて自分と同じような反応をすると、なんだか嬉しいものだ。これらも本が人と人を繋ぐコミュニケーションである。

三つ目に、プライベートな楽しみとしての役割がある。それは暇つぶしのためのものであったり、自分がただ好きなものだったり、コレクション目的だったりするので、勝手に見られると恥ずかしかったり、汚されたくないと思う。例えば、別の世界に没頭するために本を読んだり、好きな著者の本を集めたり、画集を買ったりする。ついつい連載されているマンガの続きを買ってしまったり、表紙や中身のかっこよさで本を選んでみたりする。そのほかに好きな部分だけをコラージュしたり、スクラップしたりするために買う本もある。(図書館の本は借り物なのでコラージュはできない) 完全な自己満足なので、徹頭徹尾自分の趣味で形成されたコレクションたち。よってこれを知ることその人の好みや考え方など、内面がわかってしまうのでみんな注意しているのだろう。

最後に、本のモノとしての魅力がある。

装丁や質感がきれいなものだったり、紙質、手触り、ページのめくり心地、重み、閉じるときの音など、本の内容ではなく、本自体の性質もたまらない魅力である。これらが本というメディアを成り立たせるための重要な要素である。

このように本の役割はさまざまで、本によって違うけれど、あなたが手に取るすべての本はなんらかの意味を持っている。本を読んでもらえば、おもしろい本、そうでもない本、いい本、あまりいいと思わない本、さまざまな本に出会う。けれど自分が歳や経験を重ねることで趣味が変わったり、考え方が変わったりする中で、同じ本でも異なる役割を持ったり、感じ方が変化する。そしてまた新しい視点で見ることで、世界が広がっていく。本との出会いが新しい人や知識との出会いにも繋がっていくのだ。

お勧めの図書

特集少数部から使える、刷りも価格もステキな印刷

グラフィック社編集部編 グラフィック社 2011
(デザインのひきだし：プロなら知っておきたい
デザイン・印刷・紙・加工の実践情報紙)
(芸術の森 2F 開架 749/Gra/13)

おそろし:三島屋変調百物語事始 宮部みゆき著 角川グループパブリッシング 2008
(芸術の森 2F 開架 913.6/Miy)

1Q84 (ichi-kew-hachi-yon) : a novel
村上春樹著; book 1 新潮社 2009
(芸術の森 2 F 開架 913.6/Mur/1)

今の私を作った2冊の本

札幌市立大学看護学部2年

高本 俊



イラスト・メディアデザインコース3年
山下 恵

正直、今回この文章を書くのは非常に困った。なぜなら、私はほとんど本を読まないからだ。図書室で本を借りたことは指で数えられる程度であるし、しかもその本というのは課題のために借りたものばかりである。小説なんかは全然読まないし、漫画さえもほとんど読まない。そんな私だが、今この看護の道に進むきっかけ、というよりは医療の道に進むきっかけを作ったのは本だったのかもしれないと思う。

最初に私が医療の道を目指すきっかけを与えられたのは小学校2年生の時であった。そのころからあまり本は好きではなかったが、授業の一環として図書室で本を読む機会があった。しかし、やはり私は図書室にある本を読みたいとは思わなかった。そんな時先生は隣の司書室を開けてくれた。司書室は、普段は入れないのでなんだかすごくわくわくした。そしてそこには様々な図鑑など図書室では見かけない本がたくさんあった。私はその中からなぜかたまたま人体図鑑を手にした。その中身を見たとき、私にものすごい衝撃が走った。自分の体の中はこんなにも色んな臓器があり、そしてそれぞれが役割を持っているんだなんて…。その時の私のお気に入りには消化器だったのを覚えている。おそらく小学生にとって一番身近でわかりやすかったからだろうと思う。あとは免疫も自分の体の中で細菌とこんな風に戦っているのかとものすごい興味があったのも覚えている。そう

してこの時から私は誕生日プレゼントに人体図鑑を買ってもらうほど人体の仕組みに興味を持つようになった。そしてその人体図鑑から得た情報を人に自慢げに教えることが何よりの楽しみであった。あまり聞いてくれる人はいなかったが…。そう考えると、今私が人に教えることが好きなのもこの本のおかげではないかと思う。

こうして人体の仕組みが好きになった私はそのまま中学・高校とずっと人体の仕組みには興味を持っていた。そして、高校生になった時、私は1冊の本に出会った。それが、高校の生物の資料集だった「スクエア最新図説生物」。ほかの学生にとっては単なる学校で買わされた教科書の一つに過ぎないかもしれない。しかし、私にとっては未だに肌身離さず毎日学校に持ち歩いているほど大切な今の私の知識の基礎となっている、いわば私のバイブルで、新たな医学・医療の知識を入れるときもそこから得た基礎知識と結び付けて身に着けている。この資料集は図が豊富でとても分かりやすく文章で書かれたものとは比べ物にならないくらいその知識を自分のものにしやすい。具体的に、印象に残っていてわかりやすかった例としてタンパク質の合成過程がある。その図では遺伝情報の転写から遺伝暗号の翻訳までが描かれており、それぞれの過程が核内で起こっているのか、それとも細胞質基質で起こっているのかが一見して分かり、また過程の順序も明確で、これを何度も同じように自分でも

絵を描くことで、このたんぱく質の合成過程は理解することができたし、長期的に記憶にも残っている。このように資料集で基礎的な知識を持ったことで、医学・医療の知識について文章で書かれているものを読んだ時もある程度は理解することができるようになったのではないかと考えられる。特に、文章化されているものも絵を描いたり図をイメージしたりすることでとても分かりやすくなることを知ったのは大きく、今現在数名の友人に解剖生理や病理などの基礎的な医学的知識を教えたりするときも、図示したり生物の基礎知識と結び付けたりして教えており、かなり評判が良い。私がこの大学に入り、2年生になることができ、学校生活をエンジョイできているのはまさにこの資料集のおかげではないかと思っている。

普段本当に全く本を読まない私だが、この2冊があったから今の私があるのだと思っている。今回この文章を書く機会を与えてもらったことで、今まで本なんか嫌いで何も自分とは関係ないとまで思っていた私も本から多大な影響を受けたことに気付くことができた。これからは、これら2冊の本のように私にまた大きな影響を与えてくれるような本と出逢うためにも多くの本を読んでいきたいと思う。

スクエア最新図説生物／吉里勝利監修
第一学習社2007

本との絆を深める

君に舞い降りる白
関口尚著 集英社 2007 (集英社文庫)
芸術の森 1 F 文庫新書コーナー 913.6/Sek

賢治と鉱物：文系のための鉱物学入門 = Minerals and Miyazawa
加藤碩一, 青木正博著 工作舎 2011
芸術の森 2 F 開架 459/Kat

芸術の森キャンパス・ライブラリー司書 金田一 瑞穂

2011年は東日本大震災を契機に、「絆」という言葉が注目された年でしたね。そこで今回は本との絆を深める方法について書いてみようと思います。

今回まず紹介したい本は、「君に舞い降りる白」です。舞台は岩手県盛岡市。鉱物店でアルバイトをする大学生・桜井修二を主人公に、美しい石に託された人の心を描きだした青春小説です。文庫本にしては少々厚めの作品ですが、物語のテンポが良く一気に読み進められます。読後感も爽やかで、私のお気に入り1冊です。

この作品を読んでいると、鉱物の写真を見たくなることと思います。Googleなどで検索すればすぐに確認できるかもしれませんが、でも、ここはまず図書館を使ってみましょう。家を訪ねる時は住所が必要です。同じように図書館の本にも、請求記号という住所があります。WebOPACで「鉱物」を検索すると、459番が多いようです。

今回はその中から、「賢治と鉱物」という本をご紹介します。

ます。これは宮澤賢治の著作に登場する鉱物を色ごとに紹介し、写真と解説を加えた一冊です。巻末の事項索引を使えば、鉱物の名前から解説のページを探せます。鉱物の美しい写真を見れば、きっと物語をイメージしやすくなるでしょう。

小説に登場しても、この本に載っていない鉱石もあります。例えば小説の章題にもなっているアレキサンドライトは「賢治と鉱物」には紹介されていません。では、WebOPACで見つけた他の本には載っていないでしょうか。また、写真を見ると実物が見たくなるものです。札幌に鉱物を鑑賞できる博物館などはあるのでしょうか。

このように、読書の際に少し想像力を働かせると、普段あまり読まないジャンルに近付くきっかけが生まれます。こうした方法で本を読むと、興味の幅が広がりますし、発想力も鍛えられます。気晴らしに借りた小説が、アイデアの構築に役立つかもしれません。

ぜひ図書館を活用して、本との絆を深めてください。

一歩踏み出す勇気を本からもらう

アカリイミライ 何も起こらない平穏な日々は幸せすぎて平和すぎて気づかないことが多いけれど、やっぱり素晴らしい。
紫舟著 芸文生活社 2011
桑園 開架 914.6/Shi

桑園キャンパス・ライブラリー司書 神村 沙矢香

紫舟を初めて知ったのは、テレビから流れてくるコマーシャルのワンシーンでした。小・中学校と6年近く書道を習っていた私は、そのコマーシャルが流れると、なんとなく視線がテレビへと向きます。思うまま、踊るように書を書き上げる姿が印象的で、画面を通してでも墨汁の匂いや、書き始める緊張感まで伝わってくるようです。

今では、テレビコマーシャルの他にも、アーティストのミュージックフィルムやドラマ、番組の題字など様々なところへ作品が提供されており、よく目にするので知っている方も多いと思います。

「背中を押す言葉」のテーマに合わせて、この本を手にとりました。日常の風景を切り取った写真と短いエッセイ、そして書。どれも素敵で、優しい気持ちになれる作品ばかりです。迫力のある力強い文字や、文字から感じるイメージをそのまま表現したものなどがあり、魅力的と感じさせてくれます。

エッセイのひとつに、「ツラたのしい」というものがあり思わず、「ああ、自分も同じようなことを経験したな。」と共感してしまいました。

そして、最後のあとがきにある一言が、私の「背中を押す言葉」として、元気づけられるようで、とても好きです。ぜひ、あとがきも忘れずに読んでみてください。

今年は、色々和悲しいニュースが続いた年です。しかし、先日発表された今年の漢字でも、「災」「震」などの文字が上位を占めた中で、圧倒的な票数で「絆」が今年の漢字として選ばれました。

サブタイトルでもある、「何も起こらない平穏な日々は幸せすぎて平和すぎて気づかないことが多いけれど、やっぱり素晴らしい。」というように、人との絆を感じながら、平穏な日々の生活を送れることは、素晴らしいことなのだ改めて思わせてくれる1冊です。

館外貸出ランキング

NO.1

謎解きはディナーのあとで
東川篤哉著 小学館, 2010.

芸術の森 2F 開架 913.6/Hig

おしゃれステーションリー
のつくり方
矢崎順子著.
マーブルトロン, 2008.

芸術の森 2F 開架 589.7/Yaz

四畳半神話大系

森見登美彦著. 太田出版, 2005.

芸術の森 2F 開架 913.6/Mor

舟を編む

三浦しをん著. 光文社, 2011.

芸術の森 2F 開架 913.6/Miu

日々が大切

大橋歩著. 集英社, 2010.

(集英社文庫).
芸術の森 1F 文庫新書 590/Oha

下町ロケット

池井戸潤著. 小学館, 2010.

芸術の森 2F 開架 913.6/Ike

コミュニティデザイン:
人がつながるしくみをつくる

山崎亮著. 学芸出版社, 2011.

芸術の森 2F 開架 318.8/Yam

ユリゴコロ

沼田まほかる著.
双葉社, 2011.

芸術の森 2F 開 913.6/Num

ツリーハウス

角田光代著. 文藝春秋, 2010.

芸術の森 2F 開架 913.6/Kak

イラストのことキャラクターデザインのこと
= Illustration & character design

坂崎千春著.
ビー・エヌ・エヌ新社, 2011.

芸術の森 2F 開架 674.3/Sak

館内視聴ランキング

NO.1

Blade runner
directed by Ridley Scott

screenplay by Hampton Fancher and David Peoples.
ワーナー・ホーム・ビデオ [distributor], 1996. v.

芸術の森 1F AV 778/Bla

告白

中島哲也監督・脚本; 湊かなえ原作.
完全版. 東宝 (発売), 2011. v.

芸術の森 1F AV 778/Kok

秒速5センチメートル

新海誠原作・脚本・監督. コミッ
クス・ウェーブ・フィルム, 2008. v.

芸術の森 1F AV 778.77/Byo

The curious case of Benjamin Button

edited by Kirk Baxter, Angus Wall; from the short story by F. Scott Fitzgerald;
screen story by Eric Roth and Robin Swicord; screenplay by Eric Roth directed
by David Fincher. 2-disc ed. ワーナー・ホーム・ビデオ [distributor], 2009. v.

芸術の森 1F AV 778/Cur

雲のむこう、約束の場所

新海誠監督. コミックス・ウェーブ・
フィルム, 2008. v.

芸術の森 1F AV 778.77/Kum

もののけ姫

宮崎駿原作・脚本・監督; スタジオジブリ制作.
スタジオジブリ (制作), 2001. (ジブリがいっぱ
いCOLLECTION / スタジオジブリ制作). v.

芸術の森 1F AV 778.77/Ghi

ショーシャンクの空に

フランク・ダラボン監督・脚本; スティ
ヴン・キング原作; ニキ・マーヴィン製
作. 松竹 (発売・販売), 1994. v.

芸術の森 1F AV 778/Sha

Toy story; 1

ジョン・ラセター監督. プエナピスタ
ホームエンターテイメント (発売), 200-
(Disney DVD; Disney Pixar). v.

芸術の森 1F AV 778.77/Toy/1

カールじいさんの空飛ぶ家

ビート・ドクター監督; ポプ・ピーターソン、ピー
ト・ドクター脚本. ウォルト・ディズニー・ス
タジオホームエンターテイメント (発売), 2009. v.

芸術の森 1F AV 778.77/Car

Vicky Cristina Barcelona

written and directed by Woody
Allen. アズミック・エースエンタ
インメント [distributor], 2008. v.

芸術の森 1F AV 778/Vic

附属図書館 貸出・視聴ランキング

貸出日: 2011/09/30 ~ 2011/12/12

館外貸出ランキング

NO.1

「意味づけ」「経験知」でわかる病態生理看護過程
: エキスパートが持つ知恵と経験知をマスター
昭和大学病院看護部, 石橋悦子編集; 上巻, 下巻. 日総研
出版, 2006. 桑園 開架 492.914/Sho/上~下

IS: ai-esu

六花チヨ著; 1-17. 講談社, 2003.
(講談社コミックス)

桑園 コミック 726.1/Rok/1~10

生活機能からみた老年看護過
程: +病態・生活機能関連図

山田律子, 井出訓編集.
医学書院, 2008.

桑園 開架 492.929/Yam

老年症候群別看護ケア関連
図&ケアプロトコル

田高悦子, 河野あゆみ編著; 金川克子
監修. 中央法規出版, 2008.

桑園 開架 492.929/Tak

個別性を重視した認知症患
者のケア

松下正明, 金川克子監修. 改訂版.
医学書院, 2007.

桑園 開架 492.929/Kob

認知症高齢者の看護

中島紀恵子責任編集; 太田喜久子,
奥野茂代, 水谷信子編集. 医歯薬
出版, 2007.

桑園 開架 492.929/Nak

小児看護: 発達段階の特徴と疾患の理解
から看護過程の展開を学ぶ過程&関連図

山口求編集執筆; 酒井ひろこ [ほ
か] 執筆. 日総研出版, 1999.

桑園 開架 492.925/Yam

助産診断・技術学

堀内成子編; 堀内成子 [ほか] 執筆; 1-2-3. 新生
児期・乳幼児期. 第4版. 医学書院, 2007. (助
産学講座/我部山キヨ子, 武谷健二編. 5-8).

桑園 開架 492. /Jos/5~8

直前母性看護実習プレブック:
看護過程の思考プロセス

村本淳子, 町浦美智子編著. 医
歯薬出版株式会社, 2005.

桑園 開架 492.924/Mur

おたんこナース

佐々木倫子著; 小林光恵原案;
1-5. 小学館, 2002. 桑園 コ
ミック 726.1/Sas/1~5

館内視聴ランキング

NO.1

沐浴

石淵夏子監修; 塚塚薫指導.

ビデオ・バック・ニッポン, 2003.
(母性看護学シリーズ; 新生児編; 3). v.

桑園 AV 492.924/Shi/3

新生児のフィジカルアセスメン
ト; 第1巻 (17分), 第2巻 (14分).

ソーセイビー, 1991.

桑園 AV 493.95/Shi

消化・神経・成熟徴候・外表

医学映像教育センター制作著作. 医学映像教育
センター, 2010. (看護教育シリーズ / 医学映
像教育センター制作著作; 目で見える新生児看
護; vol. 4. 胎外環境への適応生理; 2). v.

桑園 AV 492.921/Med/4

保育器の機能と看護

医学映像教育センター制作著作. 医学映像教育
センター, 2005. (看護教育シリーズ / 医学映
像教育センター制作著作; 目で見える新生児看
護; vol. 1). v. 桑園 AV 492.921/Med/1

母と子のための帝王切開

清川尚 [ほか] 指導. 毎日EVRシス
テム. (日母会員ビデオシリーズ). v.

桑園 AV 495.52/Hah

出生後一週間

日本看護協会企画. 日本看護協会,
1998. (看護技術学習支援ビデオ
シリーズ; 母性看護学; 5. 新生児
のアセスメントとケア; 2). v.

桑園 AV 492.924/Bos/5

新潟県中越沖地震にみる
災害看護活動

丸善製作・著作. 丸善出版事業部映像メディア
部, 2008. (Maruzen audiovisual library; 地
域看護活動&ヘルスプロモーション; 第4巻). v.

桑園 AV 492.99/Chi/4

保育器内での新生児ケアの実際

医学映像教育センター制作著作. 医学
映像教育センター, 2005. (看護教育シ
リイズ) (目で見える新生児看護).

桑園 AV 492.921/Med/2

地域の人たちと共に

新宿スタジオ, 200-. (V-tone
ビデオライブラリー; 信頼され
る保健婦を目指して; 第2巻). v.

桑園 AV 498.14/Shi/2

出生直後から24時間

日本看護協会企画. 日本看護協会,
1998. (看護技術学習支援ビデオ
シリーズ; 母性看護学; 4. 新生
児のアセスメントとケア; 1). v.

桑園 AV 492.924/Bos/4

2011年9月末、新図書館システムが稼働しました。

これにより新しい機器類が導入され、図書館の利用方法が一部変更されました。

またWebOPACから受けられるサービスも拡大しました。

そのポイントについてご紹介します。



1 自動入退館 システムの導入

図書館の入館・退館時には認証が必要となりました。来館にあたっては教職員証、学生証が必携となります。アラームがなりましたら係員の指示に従ってください。



2 自動貸出機の 導入

両館に自動貸出機が設置され、カウンターに来ることなく図書の貸出処理がおこなえます。貸出にあたっては画面の表示にしたがってゆっくりと操作してください。

一部、自動貸出機に対応していない資料がありますので、その場合はカウンターで貸出手続きをおこなってください。

また、自動貸出機で貸出更新（1回のみ）が可能になりました。

返却は従来どおり、閉館時はカウンターへ、閉館時はブックポストへお返してください。



図書館の未来

札幌市立大学図書館顧問 田中 道子

「図書館の理想の機能とは、少しばかり露店の古本屋に似ていて、ときたま掘り出し物が見つかることである」
ウンベルト・エーコ「バラの名前とは何か?」

（図書館 愛書家の楽園 著者:アルベルト・マンゲルより引用）

“我が意を得たり”という一文です。図書館の本棚に埋もれた宝の山の中から偶然の発見があったとき、本好きの人間にとっては堪らなく愉しく、心躍る瞬間です。紙の本は内容もさながら、表紙のデザイン、装丁、活字、紙質、手触り等々本の佇まいを含めて楽しませてくれます。

2010年は「電子書籍元年」と騒がれ、本も電子で読む時代の到来かと図書館の存在意義を問われた年でした。国内では携帯電話からスマートフォン、タブレット型PCへと情報端末の移行が進行する中、電子本はマンガを中心に健闘しているようです。

一方、雑誌、なかでも学術雑誌は速報性が重要視され、大学図書館では電子ジャーナルが不動の地位を獲得してきました。これに加え、大学構成員の研究成果を学術機関リポジトリ上でPDF公開していくという情報発信スタイルも加速しています。

15世紀中から紙という媒体を通じて人間の知的財産を文字で記録した資料を収集し、保存してきた図書館にとって、今日の流は革命的と言えます。手放して喜べない側面もあります。冒頭にあるような愉しみが奪われてしまうのを危惧しています。時代を逆戻りさせることは不可能ですが、今後も図書館は紙と電子其々の良さを加味し、共存していく状態が暫くは続くでしょう。近未来には館（やかた）のない電子図書館が出現するのでしょうか？

話は変わりますが、新図書館システムが稼働しました。自館の資料目録であるOPACは、Webを介して右記のような電子的サービスを楽しむことができました。OPACは図書館資料と人を結びつけるツールとして今後も学習、教育、研究に活用されることを望みます。

3 WebOPACからのサービスの拡大

インターネット接続の環境があればどこからでもアクセスできます。これらのサービスを受けるには利用者認証が必要です。ID、パスワードを入力してご利用ください。

- * OPAC画面から貸出状況の確認、貸出更新、予約、図書購入依頼ができます。
- * ILL依頼では「医学中央雑誌」や「CINAHL」の検索結果、本学に所蔵していない雑誌であれば、その結果をILLの依頼フォームへ受け渡してくれる便利な機能があります。
- * 図書検索結果の「書誌詳細画面」から他キャンパスの資料に予約をかけることができ、取り寄せ可能になります。
- * 利用者への督促やILL文献到着通知等の連絡は自動メールで配信されます。

< 検索結果の表示画面 >

< 利用状況の確認画面 >



これらの機能をぜひ使って、図書館を多に活用していただくようお勧めします。
何かわからないことがあれば、図書館員にお声掛けください。

リクエストを
お寄せ下さい

教養を養うための本であれば勉強に関するものでなくてもリクエストできます。一定の購入基準があり、ご希望に沿えない場合があります。

作者のことば 岡田大岬「恨骨」について

中国唐時代の詩人で「鬼才」といわれた李賀は、「長安に男児あり二十にして心已(すでに)に朽ちたり」とみづから唱い、二十七歳にて絶命した。

《恨骨》は、李賀の造語と思われる(平凡社『李賀歌詩編1』)が、

願攜漢戟招書鬼 休令恨骨填蒿里

(願はくは 漢代の戟を魂寄せに亡霊まねき

恨骨の骨の 墓穴に朽ちるなきよう 守らせ給え)

という詩に見られることばである。

《書鬼》は、文学者の亡霊。《蒿里》は、蓬(よもぎ)の生い茂った墓地のこと。《恨骨》とは、「恨みを抱いて死んだ人の骨」という意味が考えられる。

岡田大岬(おかだ たいこう)

北海道を代表する書家。岬土社主宰。北海道大学総合博物館資料部研究員。北海道大学総合博物館や北海道大学病院などに作品が収蔵。

札幌市立大学 附属図書館

SAPPORO CITY UNIVERSITY



<http://www.lib.scu.ac.jp/>

編集後記 ▶ デザイン学部 上遠野 敏

第5号の特集は「背中を押す言葉」でした。千年に一度と言われる未曾有の東日本大震災によって東北沿岸部の人々は多くのものを失いました。筆舌に尽くしがたい惨状に、私は手を合わせることしか出来ませんでした。そんな中、被災地の方々が互いに支え合い、つつましくも正直に生きる姿は世界から賞賛され、日本人の心根の美しさを改めて見せていただきました。「人を励まし、そっと背中を押してあげる」。本号では本との出会いや感動の秘話を紹介しながら人々の応援のメッセージとなる一文を寄せていただきました。表紙の作品は北海道を代表する書家・岡田大岬さんの書です。「恨骨」とは、「恨みを抱いて死んだ人の骨」という意味ですが、東日本大震災で被災された方々の無念さを弔うための祈りの作品です。私は3.11が1年経ったころ、東北沿岸部の被災地を巡ろうと思う。自然にある神性や仏性とは何であったのかを祈りを捧げながら検証したい。それが唯一、今の私が出来ることなのだと思う。

お勧めの図書

県庁おもてなし課 有川浩著 角川書店 2011

芸術の森 2 F 開架 913.6/Ari 桑園 開架 913.6/Ari

札幌市立大学附属図書館ニュースレター のほほん第5号

編集 札幌市立大学図書館運営会議

編集長 上遠野 敏

編集 片山 めぐみ

鶴木 恭子

発行日 2012年2月1日

発行 札幌市立大学附属図書館

〒005-0864 札幌市南区芸術の森1丁目

事務局 地域連携課 図書館担当

TEL.011-592-2346

制作・印刷 株式会社 プリプレス・センター

ご感想をお聞かせください。

library@scu.ac.jp